

きたはま

令和5年
3月号
No.63

発行：
北浜コミュニティセンター
TEL 66-0002 FAX 66-0016

北浜地区の人口 (R, 5, 2, 28)

世帯数	男	女	合計
388	469	481	950
(昨年同期比) Δ5	Δ19	Δ19	Δ38

新生児さん

令和4年度中(令和5年2月末まで)に、北浜地区内では新たに2人の生命が誕生しました。少子高齢化と人口減少が加速的に進展する当地区にとって、誠に喜ばしい話題です。

すくすくと元気に育ってください。

小津町 春日町町内
川瀬 智良さん・裕子さんの
三女 ^{あこ}葵心ちゃん
(令和4年8月4日生まれ)

十六島町 港町町内
南木 洋一さん・一恵さんの
長男 ^{あお}碧ちゃん
(令和4年12月22日生まれ)

北浜のこどもたち

令和4年度北浜小学校卒業生さん

※(写真2枚) 卒業記念写真と平成29年の入学式式典後の写真です。5人の配置は、全く同じです。6年間の成長がよくわかります。

本誌第63号配付日(3月16日)の翌日になる3月17日は、北浜小学校の卒業式です。本年度の卒業生5人(男子3人、女子2人)が6年間通った思い出深い学び舎を巣立っていかれます。6年間のうちのほぼ半分にあたる後半の3年間は、誰も経験したことのない新型コロナの影響で、何かと不自由な小学校生活だったと思います。

4月からは、平田中学校へスクールバスでの登校となり、これまでとはまた違った環境になりますが、早く慣れて、勉学、部活に励んでください。応援しています。

令和五年度 自治協会事業計画・予算

令和五年度北浜自治協会の事業計画及び予算については、十二月十九日(月)に理事会を経て、引き続き開催した総代会において承認されました。

北浜自治協会の事業計画及び予算は暦年ですが、役員任期は国や地方公共団体の会計年度と同一期間になっています。

【事業計画の概要】

一、理事会及び総代会の開催

- ・三月 令和四年度決算の承認(理事会・総代会)
- ・六月 市長要望等の取りまとめ(理事会)
- ・十二月 令和五年度事業計画及び予算(理事会・総代会)
- ・随時 必要に応じて開催

二、コミュニティへの育成支援…予算額の八・八%(六〇〇千円)

コミュニティセンター運営費交付金として、運営費と自主企画事業などへ支援しています。

三、各種団体への助成…予算額の四〇・七%(二、七七〇千円)

助成金(団体助成費)は、各種団体の活動を支援するものです。対象となる団体及びその金額は、次のとおりです。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ① 社会福祉協議会…一、〇〇〇千円 | ② 体育協会…六〇〇千円 |
| ③ 消防後援会…六〇〇千円 | ④ 交通安全対策自治会…九〇千円 |
| ⑤ 土木委員協議会…七〇千円 | ⑥ 寿会連合会…九〇千円 |
| ⑦ 人権尊重のまちづくり推進協議会…五〇千円 | |
| ⑧ 花とみどりのまちづくりサークル…三〇千円 | |
| ⑨ 自衛消防隊…一四〇千円 | |
| ⑩ コミュニティセンター建設期成同盟会…一〇〇千円 | |

四、北浜地区の防災対策…予算額の一・〇%(七〇千円)

防災会議及び防災訓練を実施します。



五、風力発電所及び太陽光発電所の推進及び支援

- ① 定例三者協議(出雲市・新出雲ウインドファーム・北浜自治協会)の実施…風力発電所

- ② 地域振興支援の継続…風力発電所、太陽光発電所

六、島根県及び出雲市への要望活動

各区からの要望を取捨選択し、ひとまとめにして、北浜地区の要望書として提出します。

七、十六島風車公園の管理を出雲市から受託

管理棟の開閉及び清掃並びに周辺の環境整備を行います。

八、少子化対策の実施

出生祝金を贈呈します。

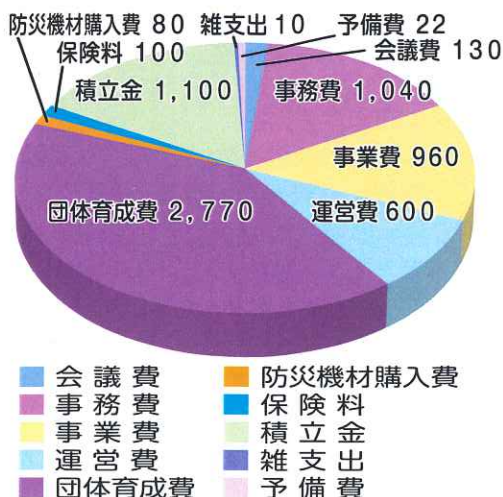
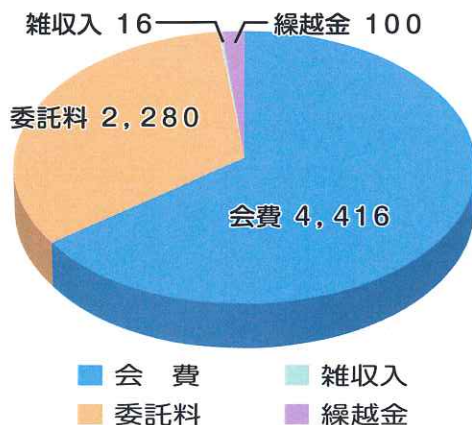
九、その他の地域振興

- ① 小学校の再編統合への対応
- ② 地域文化伝承を考える会の活動支援
- ③ 水仙の郷づくりの支援
- ④ 北浜消防分団、自衛消防隊活動への支援
- ⑤ 北浜自治協会感謝状の贈呈

【予算について】

★歳入の部(総額六、八二二千円)

★歳出の部(総額六、八二二千円)



北浜自治協会感謝状贈呈式

北浜自治協会表彰規程による令和四年度の感謝状贈呈式が十二月十九日(月)の自治協会理事会の席上にて行われました。

今年度の対象者は、十六島港町の渡部邦男さん(自治協会会長として九年など)、塩津上町の松村正利さん(自治協会副会長として十二年など)【代理 塩津区長】の二人の方に小林幹治自治協会会長から感謝状と記念品が贈られました。



改めまして、北浜地区の為に尽力をいただきました二人の方に感謝を申しあげますとともに、引き続き、ご支援を賜りますようよろしくお願いします。

団体育成費助成団体を募集します

コミュニティセンターでは、地区の皆様が令和五年度に実施される予定の活動や事業に対して助成を行います。

★対象 北浜地区の振興及び活性化等に寄与する活動を行う団体(非営利)

★申込期限 令和五年三月三十一日(金)

※お気軽にご相談ください。

北浜地区人権尊重のまちづくり協議会

クリスマス会

北浜地区青少年健全育成協議会との共催で、十二月十七日(土)、旧J Aしまね北浜店会議室において、参加者二十七人(うち北浜小児童一人)で開催しました。

講師は、サンタクロース村のあるフィンランドのご出身で、出雲市政策企画課文化国際室に所属されているミラ・ホヴィさん(出雲市国際交流員)でした。

フィンランドの国ではどんなふうにクリスマスを過ごすのかのお話しのほかに、当初は、フィンランドの屋外ゲームである「モルック」を予定していましたが、天候(雪)の関係で、イス取りゲーム、フルーツバスケット等へ変更しての内容となりました。

北浜小児童にとつては、出雲市の友好姉妹都市であるカラヨキ市のあるフィンランドという国をより身近に感じることができたのではないのでしょうか。



出雲市長への要望事項と回答について

出雲市要望

令和四年度北浜地区出雲市長要望は、十二月二十二日（木）に小林自治協会会長、川瀬地区土木委員協議会会長及び山根センター長の三人が出雲市役所を訪問し、飯塚市長へ要望書を提出しました。飯塚市長及び関係部課長から口頭で、対応方針等について説明を受けました。

その後、一月十六日（月）、飯塚市長に代わり担当課職員六人が北浜コミセンへ来訪のうえ、改めて、口頭説明のうえ、書面による回答書を小林自治協会会長へ手渡されました。

要望事項及び回答内容は、次のとおりです。

【要望Ⅰ】

◆市道相代線における側溝の清掃について【相代区内】

＜回答＞

▼堆積物も多く、地元での対応は困難と判断し、市の方で撤去しました。今後の維持管理については、地元の協力をお願いします。



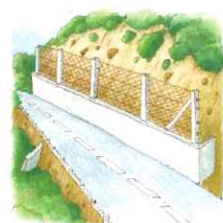
【要望Ⅱ】

◆釜谷川の護岸及び法面の整備について【多井区内】

＜回答＞

▼要望の主旨としては、大雨などにより河床や山側斜面が削られ、山側の斜面が崩落し、土砂や岩が河道を塞ぎ下流の集落に被害が及ばないようにしたいとのことだと思えます。そこで、要望区間は県の砂防指定地になっていることから、島根県に確認したところ、砂防施設としての護岸整備は難しいと回答がありました。

しかしながら、令和三年七月の豪雨などの影響も見られることから、市としては現地状況の変化を注視し、砂防事業での整備を視野に入れつつ、引き続き、河川の適切な維持管理に努めてまいります。



【要望Ⅲ】

◆市道多井釜浦塩津線における早期の災害復旧と落石防止柵、落石防止ネットの老朽化対策について【塩津区内】

＜回答＞

▼市道多井釜浦塩津線道路災害復旧工事は、令和五年三月末の完成

を目標に工事を進めています。引き続き工事への協力をお願いします。

落石防止施設については、老朽化により腐食や損傷している箇所が確認できますので、優先度の高いものから修繕したいと考えています。

また、釜浦から塩津間の側溝への土砂堆積等については、現地状況に応じて撤去します。

〔要望Ⅳ〕

◆市道美保上組線の法面浸食への対応、市道北浜二十二号線の落石対応、市道唯浦臨港線の鋼製蓋の不具合について【美保区内】

〈回答〉

▼市道美保上組線の法面は、風化が進んでいる箇所があり、表面からの土砂の流出も見られるため、法面の対策が必要であると判断しており、対策案を検討します。

市道北浜二十二号線の落石対策については、昨年度も要望いただきましたが、現在のところ、脚部の浸食は進行していないことを確認しております。この箇所の落石対策については、令和七年度以降の実施計画となりますので、工事着手までの間は、脚部浸食を経過



観察します。地元の皆様におかれましても法面の変状などが見受けられました場合は、ご一報いただきますようお願いします。
市道唯浦臨港線の鋼製蓋については、修繕方法を検討の上、対応します。

〔要望Ⅴ〕

◆北浜小学校閉校後の活用について

〈回答〉

▼統合後の北浜小学校の施設は、ご承知のとおり、現在島根県農業協同組合出雲地区本部北浜店の一部を賃貸借し仮移転している北浜コミュニティセンターの移転先として、整備・活用する予定としています。

しかし、新しいコミュニティセンター施設的设计等の実施は今後行う予定であり、現時点、詳細は決まっています。

今後、既存施設のうちコミュニティセンターとして利用しないスペースについては、地元と相談しながらその活用について検討します。

〔要望Ⅵ〕

◆サイレン取替えにかかる経費の助成について【小津区内】

〈回答〉

▼地区管理のサイレン等設備の取替・改修への経費助成は行っておりません。

本市では、市民の皆様へ確実に災害情報を伝えるため、防災行政無線戸別受信機、いずも防災メール、SNS、スマートフォン等のアプリ、ケーブルテレビ、ラジオなどによる情報発信に努めています。ぜひ、地域でも住民の皆様にご活用いただくとともに、周知にご協力いただきますようお願いします。

自主企画事業

イベント！
活動紹介

そば打ち体験

健康福祉部と北浜地区青少年健全育成協議会の共催で、十二月三日（土）、旧JAしまね北浜店会議室において、参加者十九人で開催しました。今回も、北浜地区小津町在住の錦織正人さんにご指導していただきました。

体験内容は、そば打ち、そば切りで、出来あがったそばは、各家庭へ持ち帰って、おいしくいただきました。



迎春フラワーアレンジメント教室

好評で二年連続の開催となった「迎春フラワーアレンジメント教室」は、総務安全部と文化環境部の共催で、十二月二十五日（日）、旧JAしまね北浜店会議室において、参加者十四人で開催しました。昨年と同じく村田典子さんを講師にお迎えして、新年に向けてお正月用のフーアレンジメントを教えていただきました。



北浜地区社会福祉協議会

◎美保区出前サロン

二月二十五日（土）午前十時から美保集会所において、曾田恵美子さんを講師にお迎えして、タオルを使った健康体操、茶話会が実施されました。通常の「美保なぎさサロン」とは別に、出雲市社会福祉協議会ふれあいサロン活動助成事業に位置づけられての開催となりました。参加者は、十二人でした。



◎赤い羽根共同募金



北浜地区の令和四年度赤い羽根共同募金は、各家庭から七七〇円を募金していただきました。今年度は、二七〇、二七〇円の募金がありました。この募金は、北浜地区社会福祉協議会が実施する事業の補助金などにも充てさせていただきます。

◎歳末たすけあい募金

令和四年の歳末たすけあい募金は、これまでの各世帯からいただくことを改め、一般会計予算から捻出することとしました。また、その配分についても、特定の世帯を対象に絞り込むこととし、二十二世帯へ計一〇〇、〇〇〇円をお届けしました。



◎友愛訪問

北浜地区社会福祉協議会の活動の一つである友愛訪問は、毎年二月に八十歳以上の独居世帯を民生児童委員さんが訪問し、健康状態や近況を伺ったり雑談をしたりして交流活動を行います。今年度は、二十七世帯が友愛訪問の対象世帯でした。



ご寄付

ご寄付ありがとうございました。

令和四年十二月二日から令和五年三月九日まで

【香典返し】

梅野 哲治様（故安 正様） 山根 裕二様（故恒 子様）
落合 拓美様（故孝 悦様） 福岡 健司様（故 求 様）
高橋 柳子様（故俊 次様）



平田中学校から

花のプランター

十二月十五日(木)に、平田中学校の地域広報委員会(今年度は教職員から代理手渡し)から地域の皆様へ感謝の気持ちを届けたいと三通のメッセージを添えて、十鉢(シバザクラ、プリムラマラコイデス、パンジー)ご提供いただきました。

引き続き、平田中学校生徒の皆さんを支援、応援していきます。ありがとうございました



街頭防犯カメラの移設・増設

今年度、出雲地区防犯協会から街頭防犯カメラ設置要望調査があり、地区内設置に向けて、出雲警察署等と現地確認を行ってきたところでしたが、最終的に、北浜地区内では、旧北浜コミュニティセンター敷地内(現北浜小学校教職員駐車場)にある防災行政無線の屋外拡声子局柱に設置していたものを森石グランド入口付近の街路灯柱へ移設するとともに、同一柱に一台増設し、県道十六島直江停車場線の東西双方向が見通せる環境となりました。

今回、複数の箇所に設置することを目指してきましたが、結果的には、諸般の事情等で叶わず、来年度以降へ先送りとなりました。



お知らせ

*Web会議対応パソコンがコミセンに配備されました！

北浜地区の皆さまにも、コミセン施設内にてご利用いただけます(ただし、私的利用はできません)。

詳しくは、コミセンまでお問い合わせください。

*令和三年七月大雨災害で通行止めとなっていた市道多井釜浦塩津線(釜浦⇄塩津間)は、長期に及ぶ復旧工事もいよいよ完了を迎えることとなり、三月末の検査が終了すれば、四月から通行可能となる見込みです。(市役所道路河川維持課情報)

あ と が き

ロシアがウクライナへの侵攻を開始した悪夢の日(二月二十四日)から早一年が経過しました。その間、さまざまな弊害を引き起こしてきました。まだ停戦が見えず、悪しき環境がいつまで続くのか本当に不安視せざるを得ません。

また、同じ地球上の動きとして、二月六日に発生したトルコ・シリア大地震は、二月末現在で死者数が五万人を超えました。一九五〇年以降の地震では、すでに七番目に多い死者数となっているとのこと。発生から九十二年となったあの東日本大震災(平成二十三年三月十一日)の死者・行方不明者約二万一千人(消防庁被害報第一四六報。震災関連死除く。)と単純比較しても、その甚大さが際立っていて、短期及び長期の救援、復興支援が急務となっています。

一方、新型コロナウイルスの関係では、第八波が徐々に収束傾向となり、本誌第六三号が地区内の各家庭に届く頃には、マスク着用の規制緩和(三月十三日から)等の動向に注目が集まっていることでしょう。さらには、五月九日から感染症法上の二類相当から五類へ引き下げられることから、安堵する気持ちと決して油断してはならないという慎重な気持ちが葛藤することになるのでしょうか。